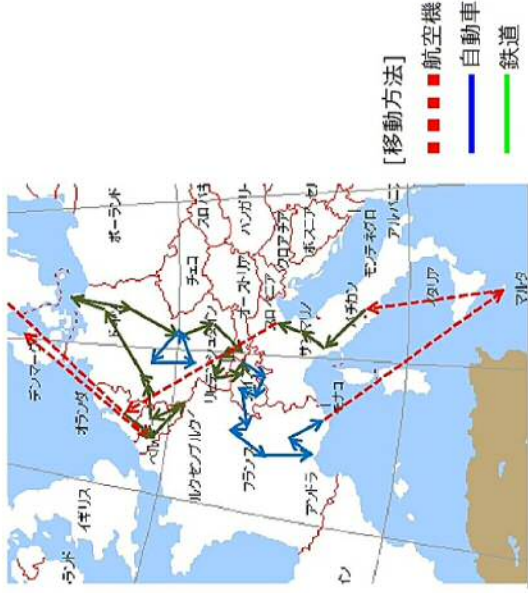


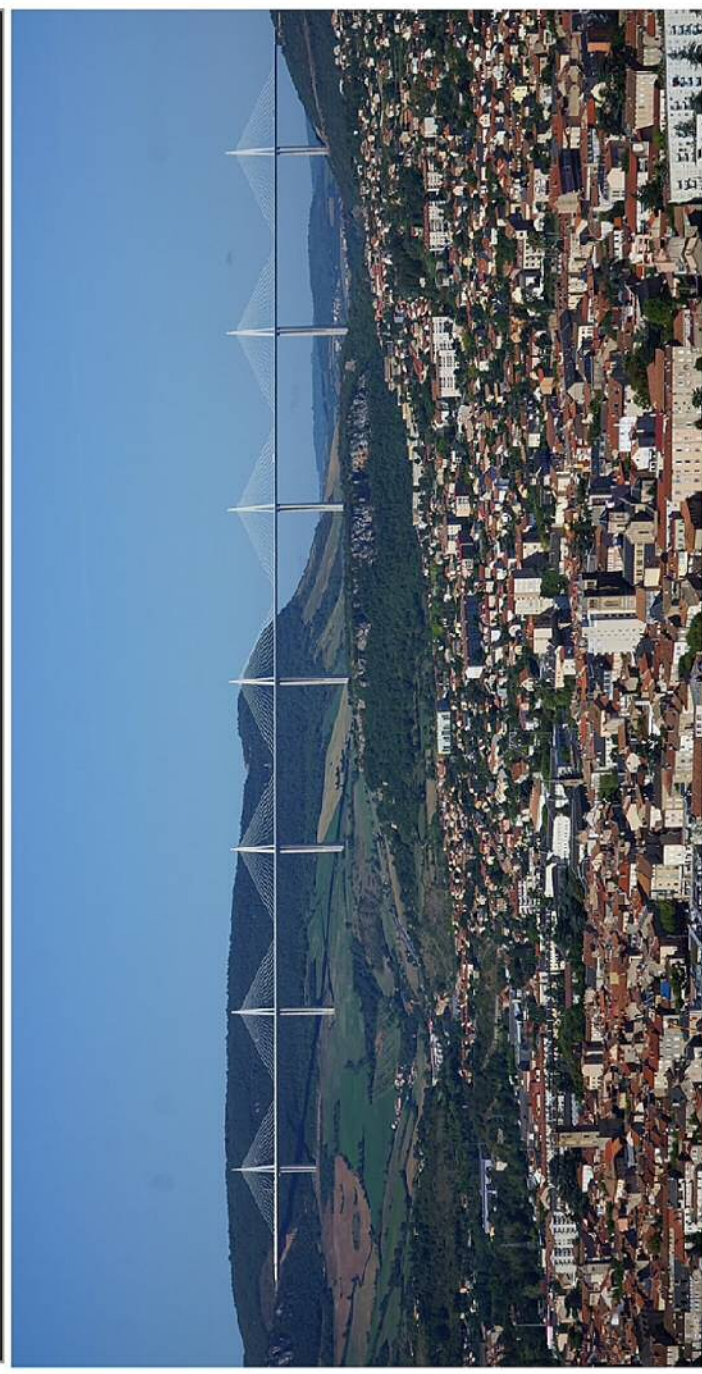
関先生が2015年夏3カ月に渡り、ヨーロッパへ海外研修へ。渡航先は、ベルギー、ルクセンブルク共和国、オランダ、ドイツ、リヒテンシュタイン共和国、スイス、フランス、イタリア、バチカン市国、マルタ共和国の10ヶ国で、主に大学や設計事務所を訪問し、数々の最新の作品を見学してきました。詳細は関先生まで。



[移動方法]

- 航空機
- 自動車
- 鉄道

関先生 sabbatical で3ヶ月ヨーロッパ放浪の旅へ



340 mスパンを支えたV橋脚と逆Y式主塔のミヨウ高架橋 millau viaduct



研究室合宿は八海山 SEKI Lab. autumn seminar at Hakkaisan 2015

研究室恒例の合宿は、10月8日-10日に日本大学八海山研修所で行った。10月8日は、研修所で3年生のゼミナール発表を行い、夜はカラオケ大会。9日は、朝から4年生、院生の研究の中間発表を行った。午後は、自由時間とし、バスケット、サッカー、ソフトボールを楽しむ。八海山へアタックする者も様々である。夜の懇親会では、カラオケ大会が始まり、一部学生による昭和のパフォーマンスが繰り広げられた。10日は、映画「ゆれる」のロケ地に使われた吊橋(美倉橋)を見学した後、おいしい蕎麦を戴き、日本最古のダムを見学して帰った。



映画「ゆれる」のロケ地の吊橋(美倉橋)

八海山で焼きマシムクロを食す

景観・デザイン研究発表会で優秀作品受賞

土木学会主催の第11回景観・デザイン研究発表会の学生演習作品展において、「優秀作品賞」を受賞した。応募17団体の内、1団体が最優秀作品賞、2団体が優秀作品賞の受賞となった。応募作品は、一昨年のゼミナールで作成した「錦帯橋」の1/20モデル。ゼミナールでは、構造のスキースモデルを作成し、その構造物の発表を行い、その中から全員で協力して、大きな模型を構築するといったもので、2015年の春に完成した。



学会賞状 委員長は関先生



製作した2014年度3年生

国際学生BIM & VRコンペ 日大2連敗

Virtual Reality (通称VR) 仮想空間体験なるコンピュータグラフィックスの国際学生コンペティションが開催された。第5回となる2015年のテーマは、“Redevelopment of Keelung Station Area in Taiwan” 台湾基隆駅前再開発で、都市の再開発をデジタルで行うもの。今回は世界5か国77チームよりエントリーがありました。予選選考で11作品(日本4作品、海外7作品)がノミネートされ、最優秀賞、優秀賞および審査員特別賞5点が選定されました。日本大学理工学部土木工学科構造・デザイン研究室は、3年生と4年生が混合した2チーム13名で応募し、その結果、1チームがノミネート賞まで入賞することができましたが、賞の受賞までには至らなかつた。尚、構造・デザイン研究室は、2013年にWorld Cup最優秀賞を受賞している。昨年に続き、受賞は見送られた。

○ノミネート賞 Nomination Award

チーム名: Pioneer

題名: Beating Nature

メンバー: M2 張加順

B4 濱野 北斗

B3 石垣 柳有侍 B4 于 海峰

B3 長谷川 潤之介 B3 手塚 寛人

桜門技術士会フォーラム2015開催を支援

構造・デザイン研究室は、桜門技術士会のフォーラムの誘導サイン、マイク、映像など設備関係を支援しました。来場者は100人を超え、懇親会も盛況となりました。



会長の成島誠一氏(西武建設) 日大理工土木1985年卒